

MICEとIT活用

—最新のIT技術がMICEをどう変えるのか

一般社団法人MICE総研 事務局

昨年は、コンベンションや展示会場でのスマートフォンやタブレット端末の利用が広がり、MICEにおけるIT活用が大きく進化した。また、東日本大震災で大型会議が中止・延期となるケースもあるなか、複数の会議がWEB上で開催され、新たな会議のあり方が模索された。

ITがMICEの分野でどのように活用され、MICE業界をどのように変えていくのか、その可能性をさぐってみたい。



スマホやタブレット端末などIT活用の最新トレンド

コンベンションの分野では、事前

参加登録のシステムや当日受付をスムーズにする参加証発券機、発表論文の処理システムなど、従来から幅広くIT技術が活用されてきたが、近年スマートフォンやタブレット端末を使った情報提供が大きく進化を遂げてきている。医学系の学会でも、プログラム情報や発表内容などに加え、飲食店や観光スポットといった周辺情報を盛り込んだ専用アプリを提供するケースも多くなっており、会議場内でタブレット端末をチェックする来場者の姿も増えている。現時点では、来場者全体から見ると、そういった最新サービスの利用者はまだ一部にとどまっているが、スマートフォンの普及が進めば、近い将

来、当たり前のこととなるだろう。

また、学会の会員カード(磁気カード)を使用して、学術集会のセッション会場への入室管理を行って専門医の単位取得を認証するケースもある。主催者サイドからみると、「何人来られたか(来場者数の把握)」のレベルから、「誰が来られたか(来場者個人の判別)」に管理レベルが変わりつつあるようだ。

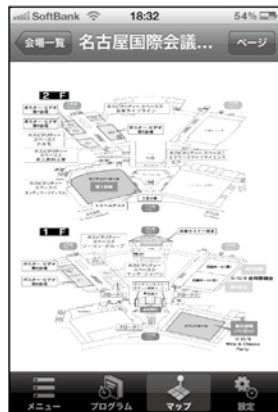
アメリカの展示業界ではマーケティングツールとして活用

一方展示会の分野では、IT技術がマーケティングツールとして、1990年代からすでに積極的に活用さ

医学系学会向けスマートフォン・アプリの画面



トップ画面



会場案内図



周辺情報(ホテル情報)



プログラム情報



昨年10月、ラスベガスで開催されたMICE見本市“IMEX America”ではRFIDが導入されており、受付では、ICチップを埋め込んだ参加証が渡されていた。



れている。特に、アメリカの展示会（トレードショー）では、従来からROI（Return On Investment 投資利益率）が追求される傾向が高く、RFID（Radio Frequency Identification ICチップにより人やモノを識別する仕組み）を利用したマーケティング手法が積極的に活用されている。ICチップを埋め込んだネームカードを身につけた来場者が会場内をどのように移動したか、どのブースに立ち寄ったか、各ブースで何分滞在したかといった情報が記録され、収集されたデータは、購買動向や顧客の動きを把握できる貴重なデータとして主催者や出展者の手にわたる。来場者をマーケティング的な見地で捉え、属性からその動向まで深く分析して活用する姿勢がベースにあるが、ITがその流れを加速させている。また来場者に関する詳細な情報は、企業や団体の出展の決め手となることも多い。

日本は、アメリカに比べるとROI

を厳しく追求する傾向が低いことに加え、チップの単価が高額であることなどもあり大きな普及には至っていない。個人情報保護というハードルもある。しかし、早晚RFIDは日本においても広く導入されるのではないと思われる。

SNSなどを活用した双方向性に大きな可能性あり

フェイスブックやツイッターなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）については、コンベンションにおいても、展示会においてもまだ活用例が少ない。これまで公式ホームページを使って行っていた「主催者から参加者に向けたメッセージ発信」に、フェイスブックやツイッターも加えて使っているケースが多く、SNSの特徴である「双方向性」を活かした取組みについては発展の余地が残されている。昨年当総研の研究員が視察した各国の国際会議で

もフェイスブックが利用されていたが、活用のされ方については日本同様、メッセージの発信にとどまっていることが多いようだ。今後、SNS上で、参加者と主催者、あるいは参加者同士の議論が深まることによって、会議のあり方そのものにも大きなインパクトを与える可能性を秘めている。また、ウェブ会議に課金機能や聴講記録のチェック機能を付加するなどにより、e-learning環境も急速に進歩している。最新のサービス開発の動向には一層の注目が必要だ。



MICE 総研の主力業務

- ① 国際会議・国内会議・展示会に関する各種支援事業
- ② PFI・PPP（官業民営化）の推進
- ③ 会議施設・文化集客施設開発の企画・調査
- ④ 海外 MICE 関連事業調査
- ⑤ MICE 関連の広報・出版活動